

P-23 東北メディカル・メガバンク事業 三世代コホート調査の進捗について

○目時 弘仁、石黒 真美、小原 拓、佐藤 ゆき、菊谷 昌浩、栗山 進一、
寶澤 篤、大隅 典子、清元 秀泰、菅原 準一、鈴木 洋一、冨永 悌二、布施 昇
男、峯岸 直子、辻 一郎、呉 繁夫、八重樫 伸生、山本 雅之

東北大学・東北メディカル・メガバンク機構

【目的】東北メディカル・メガバンク事業における三世代コホート調査は、1)今後増加すると懸念する疾患、社会的要請の強い疾患を重点疾患として詳細な健康調査を実施して、住民への健康支援を行うこと、2)三世代の遺伝継承性に基づく遺伝・環境要因の両方を考慮した調査を行い、個別化予防・医療の実現に向けたより質の高い保健医療の基盤作りに貢献すること、3)収集後の試料・情報は、バイオバンクとして幅広い研究機関へ提供し、個別化予防・医療を最も効率的に実現するための研究を支える基盤を構築することを目的としている。

【方法】対象者は、宮城県に居住し出産予定日が2014年2月1日以降の妊婦とその子ども、子どもの同胞、子どもの父親、子どもの祖母・祖父、子どものその他の家族で、調査に参加同意した者である。ベースライン調査のリクルート期間は2013年7月から2017年3月までを予定している。目標対象者数は7万人の参加とする。協力医療機関を受診又は地域支援センターに来所した妊婦に十分な説明を実施した後、同意を得、採血・採尿、調査票への協力を依頼する。妊婦の家族に対しても同様に行う。地域支援センター受診者には当日採血・採尿、調査票に加え、骨密度、呼吸機能検査等の詳細な検査への協力を依頼している。参加同意者に対しては、循環器疾患・腎機能・糖代謝・胃がん・心理的指標等の結果を回付している。

【結果】2013年7月に宮城県南地区より調査を開始し、2013年9月20日には仙台市内の医療機関でも調査を開始した。2014年5月19日現在、妊婦3,244人、子どもの父親548人、子どもの祖父母309人、子どもの同胞565人が参加し、出生した子どもは684人になった。発表当日に詳細な結果を示す。

【結論】2013年7月から調査が開始され、順次対象地区・協力医療機関を拡大し、参加を募っている。今後、震災により増加すると懸念する疾患、社会的要請の強い疾患について評価し地域支援につなげ、三世代の遺伝継承性に基づく遺伝・環境要因の両方を考慮した調査を行い、個別化予防・医療の実現に向けた計画を実施する。東北メディカル・メガバンク事業では住民に分かりやすく説明し、コホートの精度を高く保つよう調査を実施する。